



Press Release

報道資料

2010年7月5日
在日米国商工会議所

「ACCJ ジャーナル」日本語抜粋版創刊のお知らせ

在日米国商工会議所（ACCJ）の英語会員誌「ACCJジャーナル」は、7月号より英文本誌の記事を抜粋し、日本語で紹介する別冊を創刊します。

創刊46年目を迎えた「ACCJジャーナル」は、今年1月、英文本誌およびウェブサイトを一新しました。そしてこのたび、ACCJの政策提言活動、専門家が語る政治・経済・ビジネス環境の見解を幅広く取り扱う英文本誌から厳選した記事を日本語に翻訳します。日本語だけで構成されるACCJジャーナルの別冊を発行するのは初めてです。

この日本語抜粋版は、ACCJ会員の他、国会議員、日本政府関係者、日本の商工会議所、一般企業への送付を予定しています。

ACCJ副会頭でコミュニケーション評議会議長のウィリアム・R・ビショップは、「ACCJジャーナル日本語抜粋版を通して、政策立案者や関係者の方々に、在日国際経済界のリーダーの考えや意見をご紹介したいと考えております」と述べました。

発行日： 2010年7月5日（月）
内 容： ACCJ ジャーナル（英文本誌）の記事を抜粋、和訳されたもの
ウェブサイト： < <http://accjournal.com> >
発行者： ジャパンインク・コミュニケーションズ株式会社

以上

###

1010 J

－在日米国商工会議所について－

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外資系経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係の下、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60余りの業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等に関するイベントやセミナーを年間500以上開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

－ジャパンインク・コミュニケーションズ株式会社について－

ジャパンインク・コミュニケーションズ株式会社は2000年3月に設立されました。英文ビジネスウェブサイトと月刊誌『J@pan Inc（ジャパンインク）』では、日本のビジネス界で話題となっている課題、話題、そして論議を幅広く取り上げています。また、政治・投資・開発・教育など多岐にわたる内容について、個人起業家から大企業までを対象に独自の取材を行っています。2010年から月刊誌『ACCJジャーナル』の発行、並びにウェブサイト<<http://accjournal.com>>を開設しています。

【お問い合わせ／ACCJジャーナル日本語抜粋版のお申し込み】

本件に関するご質問、お問い合わせ、および取材のACCJジャーナル日本語抜粋版のお申し込みにつきましては、在日米国商工会議所 広報担当 元木美奈子（電話：03-3433-6542；メール：mmotoki@accj.or.jp）までお願い致します。